洋上風力発電に関する
地域研究・検討会議

令和８年度　第２回

目次

1. 第１回検討会でいただいたご意見・ご質問への回答　P. ２～
2. 令和８年度の取組に関する報告等　P. ５～

１．第１回検討会でいただいたご意見・ご質問への回答

	ご意見・ご質問内容	該当頁
ご意見	生物基礎調査の有識者コメントについて、容易に確認できるようにしてほしい	―
	基地港湾について、検討会に情報共有してほしい	―
ご質問	低周波音の影響について	P.3

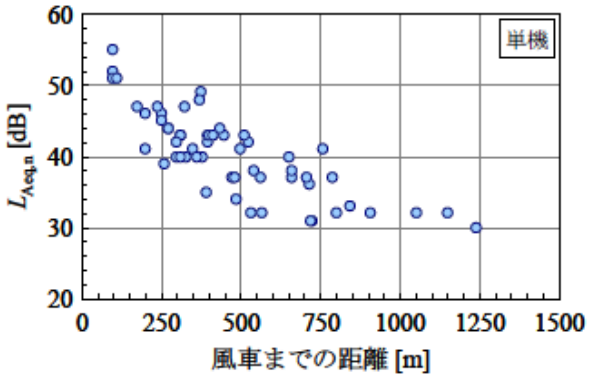
1．第１回検討会でいただいたご意見・ご質問への回答

【低周波音の影響について】

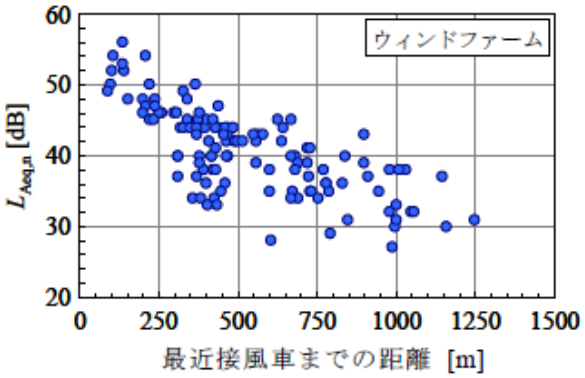
Q. 低周波音は風向きに大きく影響されると記載があるが、検討会の資料で風速の条件は考慮されているのか

〇前回検討会資料は環境省「風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究（平成22～24年度）」の一部内容（事前アンケート調査結果）をご参考までに紹介しました

〇本研究では、風力発電施設周辺164地点で、**風況測定を含めた騒音測定調査が実施**されています。当該調査において、**音の伝わり方は、**風車からの距離だけで決まるものではなく、**地形・地物・気象条件など、距離以外の条件によっても変化**するとされております



図(2)-7　風車（単機）から測定点の水平距離とL_{Aeq}の関係



図(2)-8　最近接風車から測定点の水平距離とL_{Aeq}の関係

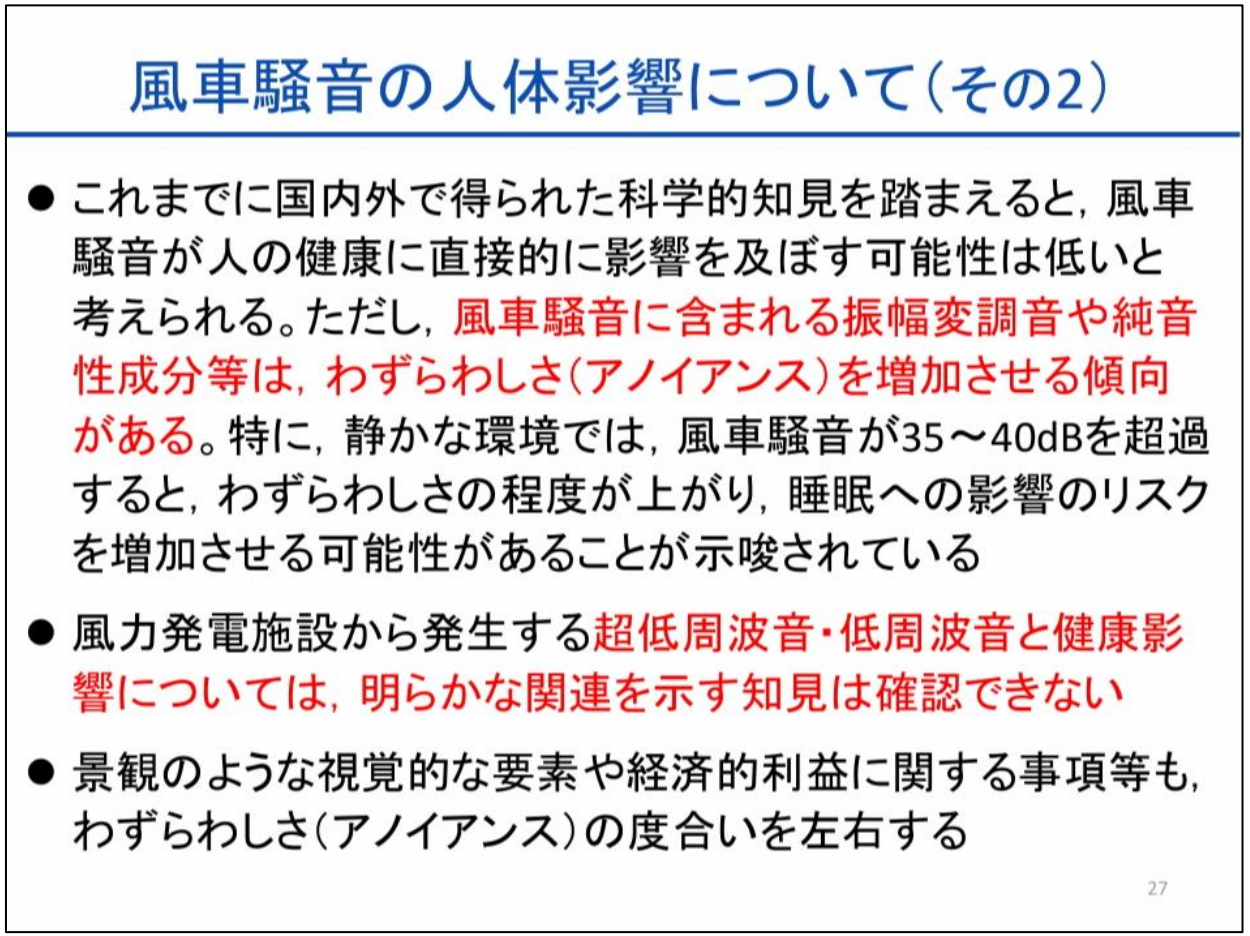
出典：環境省「風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究」

１．第１回検討会でいただいたご意見・ご質問への回答

（参考）

○令和元年12月に行われた第２回秋田県由利本荘市沖法定協議会資料においても、同様に騒音レベルが距離以外の条件により影響する旨記載がございます

○また、当該資料においては、**風車騒音の人体影響について、「明らかな関連を示す知見は確認できない」**とされております



風車騒音の人体影響について（その2）

- これまでに国内外で得られた科学的知見を踏まえると，風車騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。ただし，風車騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は，わずらわしさ（アノイアンス）を増加させる傾向がある。特に，静かな環境では，風車騒音が35～40dBを超過すると，わずらわしさの程度が上がり，睡眠への影響のリスクを増加させる可能性があることが示唆されている
- 風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については，明らかな関連を示す知見は確認できない
- 景観のような視覚的な要素や経済的利益に関する事項等も，わずらわしさ（アノイアンス）の度合いを左右する

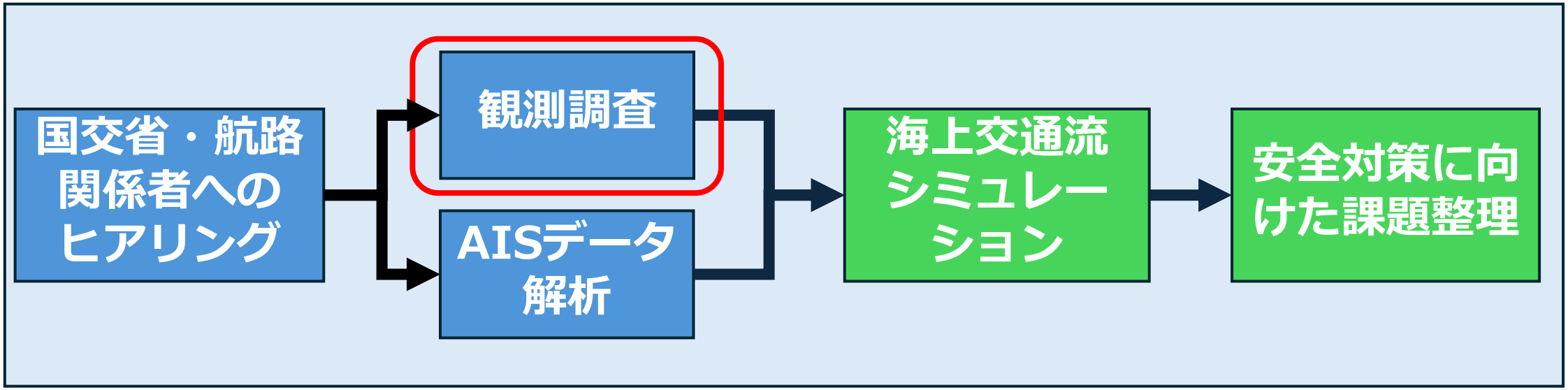
27

出典：日本大学町田信夫「風力発電施設における騒音及び超低周波音について」（令和元年12月26日）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/yojo_furyoku/dl/kyougi/akita_yuri/02_docs07.pdf

2．令和８年度の取組に関する報告（船舶通航実態調査）

【事業目的】

伊豆諸島海域における船舶の通航状況を把握し、風車設置後を想定した船舶交通流のシミュレーションや、今後の安全対策検討に向けた課題整理を行うこと



【観測調査の内容】

今後の検討に向けた船舶の通航状況把握のため、伊豆諸島の各島で観測基地を設置し、目視・レーダーによる観測、リアルタイムのＡＩＳ（※船舶自動識別装置）データ収集を行う**観測調査**を実施

※船舶情報を自動的に送受信し、船舶相互で航行情報の交換を行うシステム

2．令和８年度の取組に関する報告（船舶通航実態調査）

【調査対象・期間】

大島町沖、新島村沖、神津島村沖、三宅村沖、八丈町沖の準備区域内を対象に、72時間の連続観測を実施

観測エリア	観測地点	観測期間
大島町沖	砂の浜駐車場	6/11～6/13
	利島臨時ヘリポート	
新島村沖	利島臨時ヘリポート	6/11～6/13
	羽伏浦メインゲート	7/6～7/8
三宅村沖	三宅村交通公園	7/6～7/8

※神津島村沖・八丈町沖での観測は実施に向けた調整中



↑大島観測基地全体

↓目視観測調査の様子



【観測方法】

①レーダを用いて、観測範囲内の船舶を観測
②目視により、通過する船舶の航跡・船種・船型を観測
③観測期間中のAISデータの取得

【調査結果（大島町沖）】

・期間中の通過船舶数の合計は284隻（漁船：134隻、貨物船：47隻、プレジャーボート：29隻　等）
・AISを搭載している船舶は142隻、非搭載が142隻

2．令和８年度の取組に関する報告（展示ブース：大島町）

【実施内容】

・VR機器を用いたフォトモンタージュの鑑賞
・浮体式洋上風力発電の模型展示
・洋上風力に関する基礎情報・Q&Aパネルの展示
・より詳しい情報を見られるタブレットの設置

【開催日程・会場】

7/9（木）～7/11（土）　勤労福祉会館
7/12（日）～7/14（火）　愛らんどセンター御神火温泉

【来場者数】

日程	会場	来場者数
7月9日(木)	勤労福祉会館	45名
7月10日(金)		
7月11日(土)		
7月12日(日)	御神火温泉	146名
7月13日(月)		
7月14日(火)		
来場者数合計		**191名**



↑勤労福祉会館

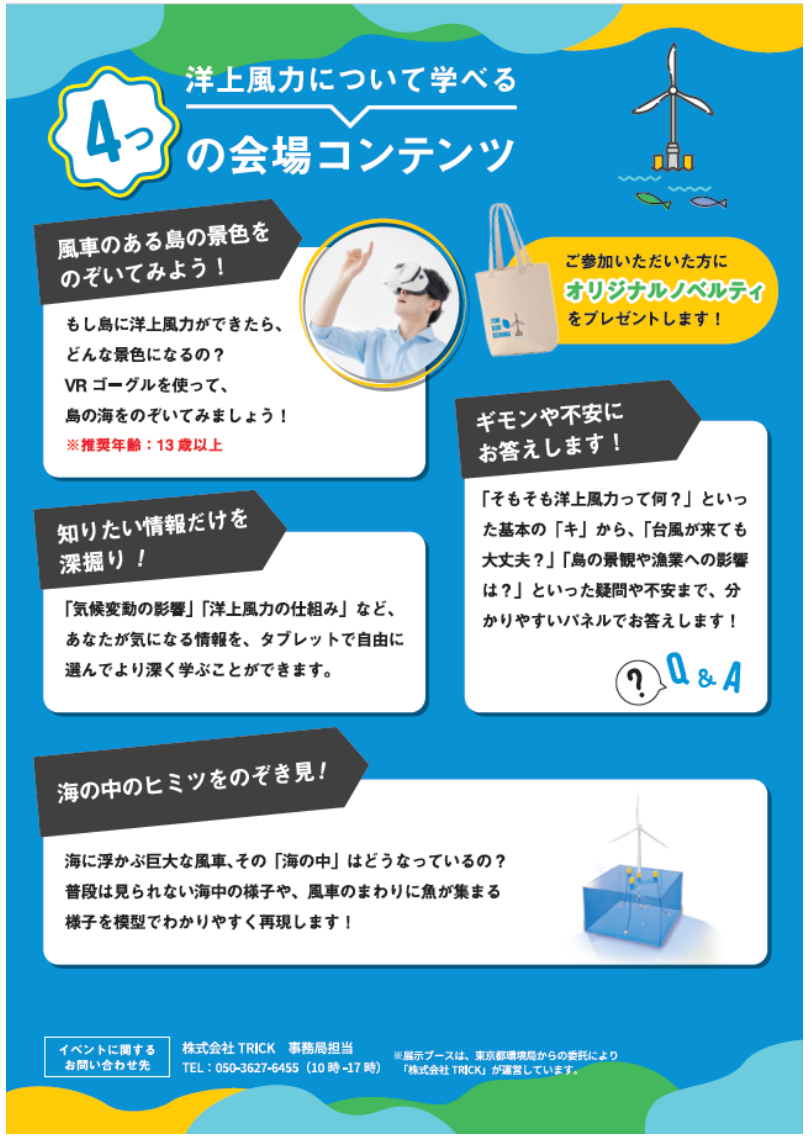
↓愛らんどセンター御神火温泉



2．令和８年度の取組に関する報告（展示ブース：大島町）

〈全住戸へお配りしたチラシ〉

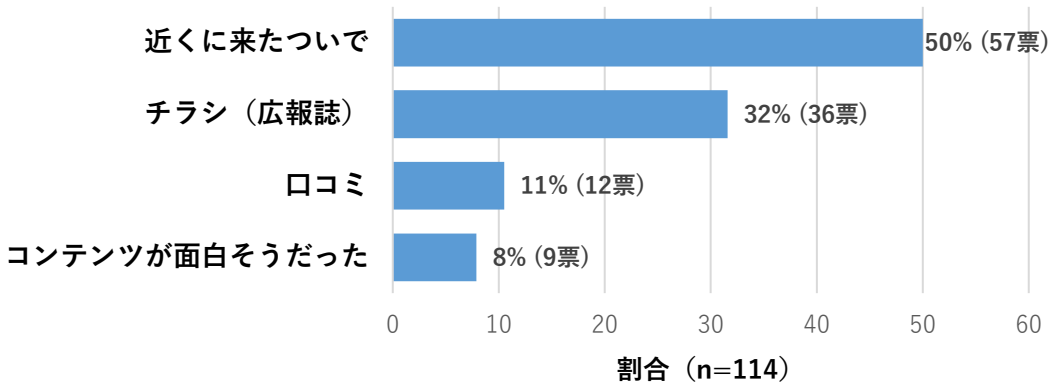




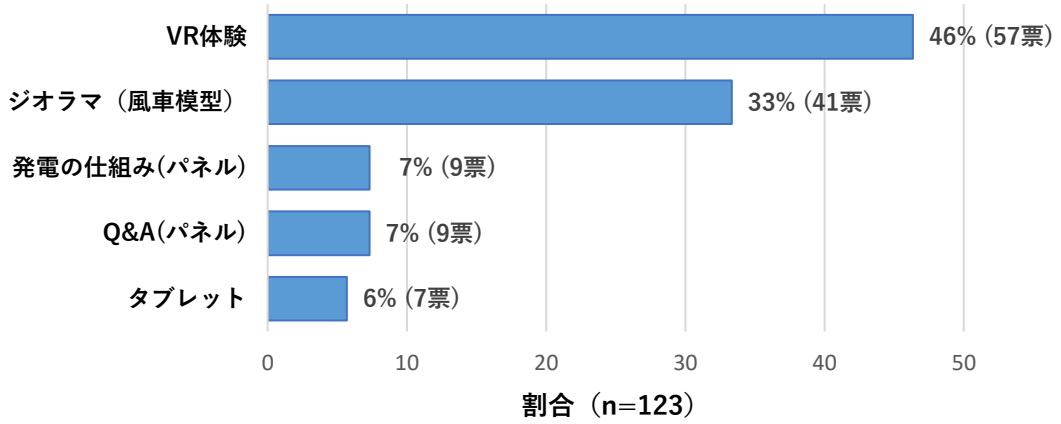
2．令和８年度の取組に関する報告（展示ブース：大島町）

【アンケート結果】

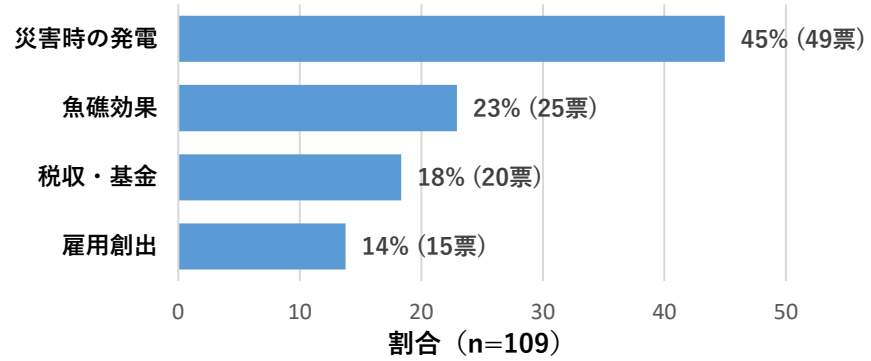
Q1:展示ブースに来たきっかけ



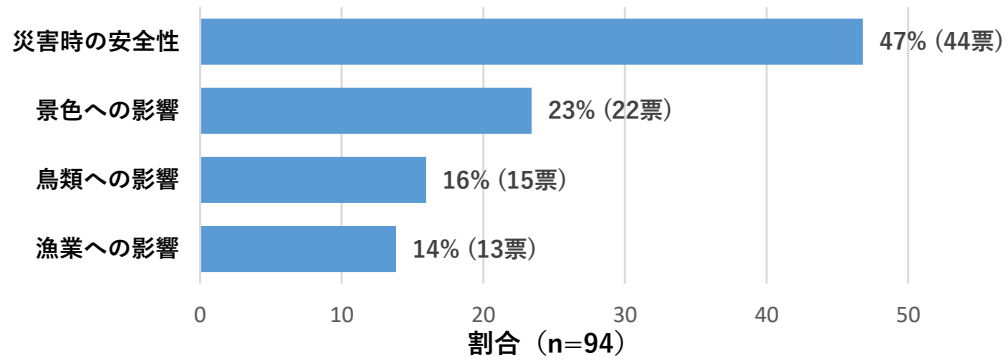
Q2:コンテンツの中でよかったもの



Q3:風力発電の良いと思う点



Q4:風力発電の不安な点



2．令和８年度の取組に関する報告（展示ブース：大島町）

【会場でいただいたご意見（一部）】

■環境・景観へのご意見
- 景観について、 VRを見たことでより具体的にイメージがわいた。夜はどうなるのかも知りたいと思った
- バードストライクや鳥の行動の変化など、生態に関しては心配がある

■設置計画に関するご意見
- １基で島しょ部の電力を賄えるのであれば、まずは数基の建設から始めてもよいのではないか
- どうせやるなら、早めに実施してほしい

■雇用創出に関するご意見
- メンテナンスに取組む人員が島内では不足している。若い人が戻って来てくれると良い
- 観光資源にはなりそうだが、受け入れるための人手不足は気になる

■災害時の発電・安全性に関するご意見
- 過去の災害時、火力発電が止まらず島への影響が少なかったため、ブースを見たことで初めて災害時の洋上風力の必要性やメリットを知った
- 海底に鎖で係留されているだけで本当に大丈夫なのか、安全性が気になる。

■その他
- どの島よりも洋上風力をポジティブに思っている人は多いと思う。
- 洋上風力の模型はとても良いので、役場などに設置しておくとよいと思った。

2．令和８年度の取組に関する報告（ワークショップ）

【開催概要】

○子ども(未就学児～高校生)を対象に、
　気候変動や環境問題について楽しく学べるイベントを実施

	開催日時	場所
大島町	11月3日(火・祝)	大島町開発総合センター
新島	調整中	調整中
式根島	10月25日(日)	式根島開発総合センター
神津島村	9月27日(日)	生きがい健康センター
三宅村	調整中	調整中
八丈町	調整中	調整中

〈全住戸へお配りしたチラシ〉



２．令和８年度の取組に関する報告（ＶＲ映像の制作）

○洋上風力発電導入後における周辺海域の魚類の生態を紹介するため、
　参考として、先進地である長崎県五島市の洋上風力発電に関する360°映像を制作（約５分）



○ＶＲで視聴いただく印象と多少異なりますので、ご了承ください